

科学技術イノベーション政策 と報道

朝日新聞編集委員 高橋真理子

政府と報道は共進化する

世紀の区切りに大変革

- 20世紀
- 文部省—社会部 科学技術庁—科学部

- 21世紀(2001年省庁再編)
- 文部科学省—社会部、科学部
- 内閣府総合科学技術会議—科学部
- 経産省原子力安全・保安院—科学部、経済部

20世紀を振り返る

1991年暮れの新聞広告

Monthly Journal of Science, KAGAKU ASAHI

科学朝日

1月号 定価720円 朝日新聞社

本日発売!

好評連載

充実の
読み物

日本のサイエンスに独自性はあるのか?
野郎の年齢はくまはくまとしてわがま

立花隆が歩く
「メソジック・ソフィスティケート」の道

新連載開始!

モンローの6
日本の科学界に100年を誇るモンローの6

カーイル・イルメンゼー
ベルギーの文壇の巨匠

小林 誠さんと
小島 信子さんと

手術しすぎる
日本のがん治療

U.S. Science
好評連載
「The Science of the Mind」



ケーススタディ: 科学技術基本法成立

- 朝日新聞に初めて「科学技術基本法」の単語が現れたのは、1994年11月12日政治面「記者席」
- 筆者は現衆議院議員(自)の松島みどり記者
- 291文字のコラム

94.11.12記者席 産・学・政に「科学熱」

- 自民党の尾身幸次代議士が中心になり、科学技術基本法を次期通常国会で議員立法しようと他党に呼びかけている。
- 梶山静六前自民党幹事長は村山富市首相に、産業の空洞化対策として基礎研究の充実を説いた。橋本龍太郎通産相が帰国したら、動きを本格化させる考えだ。梶山氏は商工族仲間の与謝野文相に、「文部省もしっかりしろよ」とハツパをかけたという。
- 通産、文部、科学技術の三省庁の枠を超え、新政策を生み出せるだろうか。

科学技術基本法成立までの報道

- 94年11月12日 記者席 産・学・政に「科学熱」
- 95年1月15日 短信 法案を提出 超党派グループ
- 4月21日 社説 志の高い科学技術立国を
- 5月18日 短信 連立与党がプロジェクトチーム設置
- 10月27日 短信 法案提出へ
- 11月9日 3面短信 科学技術基本法が成立

ケーススタディ: 科学技術基本法成立

- そして、
- 96年1月27日 文化面 米本昌平氏の寄稿

科学技術政策の新しい風（科学をよむ）

書き出しは「ほとんどの人は気づいてはいないだろうが、いま科学研究の領域には新しい風が吹いている。」

科学技術基本法は、
ほとんどの人が気づかないうちに
成立した。

21世紀の 科学技術イノベーション政策報道

潮目を変えた記事は2006年、 小泉政権下に登場

記事データベースから

- 84年～2000年 「科学技術会議」で検索 412本
=年平均24本
- 2001年以降「総合科学技術会議」で検索 614本
=年平均51本

3%理論 by 高橋真理子

- 2003年ベストエッセイ集「うらやましい人」(文春文庫)に採録された「ジャーナリズムから見た科学・技術と社会」(初出は『学燈』2002年3月号)で主張
- そもそもは、1999年の地球惑星科学関連学会合同大会で発表

日本社会における科学の割合は
3%である

3%理論（1999年）

- GDP(500兆円)に対する研究開発投資額(15兆円)
- 政府の一般会計(81兆円)に対する科学技術関連予算(3兆円)
- 朝日新聞東京本社の科学部記者(23人)は東京本社出稿部のほぼ4%
- 朝日新聞紙面(一週間で約260ページ)における科学面・医療面は2%、それ以外の面にも載る物も含めると科学記事の割合は約3%

経済vs科学、と考えると

- 2012年12月以降
 - 経済財政諮問会議の記事 44件
 - 総合科学技術会議の記事 2件

→5%
- 1984年以降
 - 経済財政諮問会議 3824件
 - 総合科学技術会議 651件

→17%

経済白書vs科学技術白書

- 1984年以降
- 「経済白書」で検索 1006本
- 「科学技術白書」で検索 88本

→9%

本日初公開！ 「10%理論」

政策における科学と経済の比率は
1対10である

【参考】各種白書の紙面登場回数

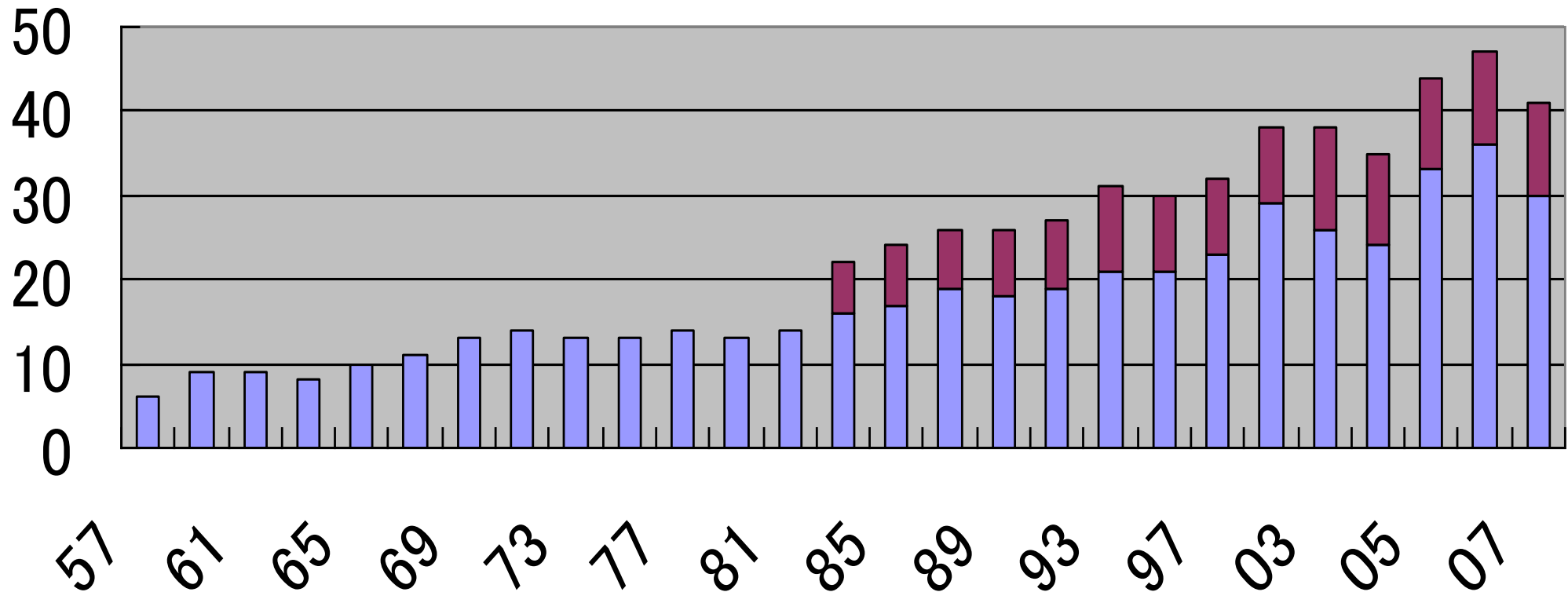
- 厚生白書 197 + 厚生労働白書48=245
- 犯罪白書(法務省) 228
- 警察白書(警察庁) 221
- 通商白書 177
- 科学技術白書 88
- 青少年白書 54 + 子ども・若者白書3=57
- 男女共同参画白書 48
- 障害者白書 28

記者数からみた10%理論

- 1957年に科学部が創設されて以来、基本的には科学部記者は右肩上がりが増えてきた。
- 現在は「科学医療部」
- 資料によれば、東京本社の記者数は39人
- 東京本社出稿部の約8%

Population of Science news section (Asahi Shimbun)

■ Tokyo Office ■ Osaka Office



まとめ

- 「ほとんどの人が気づかないうちに成立した科学技術基本法」の効果が、21世紀に入って顕在化
- 科学技術予算がとりあえず増えた
- 科学技術がイノベーションと結びつけられることによって、科学技術政策が経済政策の一環と見なされるようになり、政策における科学の重みが増した
- 科学技術基本法とは直接関係がないが、2000年以降ノーベル賞受賞者が急増したことで、社会における科学の存在感も増した

まとめ 報道側の変化

- 省庁再編で、新聞社の取材態勢も大きく変わった→昔ながらの部単位構造を意図的に壊した
- 日本の政治構造が変わり、政治記者の意識も変わった。→「政局より政策」
- デジタル化の大波を受け、新聞の役割も問い直される→細かいニュース報道より、解説、企画記事を重視する方向へ

科学技術政策報道が進化、深化した

- 2010年6月に誕生した朝日新聞の有料言論ウェブメディア「WEBRONZA」
- 当初は「政治・国際」「経済・雇用」「社会・メディア」の3ジャンル
- 2010年12月に「科学・環境」が登場。
- 11年になって「文化・エンタメ」も。
- 背景には、デジタルに打って出なければ新聞社の未来はないという危機感



秋山仁



伊藤智義



内村直之



大林ミカ



尾関章



片瀬久美子



北野宏明



楠瀬良



久保田裕



小林光



佐藤匠徳



下條信輔



須藤靖



高橋真理子



竹内敬二



武村政春



辻篤子



長瀧重信



中村多美子



広井良典



本位田真一



山極寿一



山崎直子



湯之上隆



吉田文和



米本昌平



米山正寛



鷺田清一



高橋真理子

「イノベーション」と言わなくなった安倍首相

2012年12月31日

国内政治 科学政策 税金 金融

1 retweet 0 おすすめ 3

安倍新内閣が26日に発足した。優先課題はデフレ脱却だという。そのために、日銀に金融の大幅緩和を求め、国債増発による公共事業拡大を進めると総選挙中から主張していた。結果として円安、株高が進み、「アベノミクス」(安倍+エコノミクスの造語で、安倍さんの経済政策という意味)の効果と金融・証券市場でもてはやされている。

だが、不思議に思うことがある。最初の首相就任のときにあれほど連呼した「イノベーション」が今回はさっぱり聞こえてこないのである。総理就任会見での冒頭発言でも、この単語を口にできなかった。6年前は、こちらの耳にタコができるほどイノベーションと言い続けていたのにどうしたのだろうか。イノベーションはもはや必要ないと考えて、公共事業頼りの経済を「取り戻す」



アクセスランキング

WEBRONZA+

その他

1. 「左派・リベラル系」政治勢力の零落と再生への条件 (WEBRONZA+ 政治・国際)
2. 関東連合と「六本木フラワー事件」3つの謎 (WEBRONZA+ 社会・メディア)
3. 暴力団でないアウトロー「半グレ」の実態 (WEBRONZA+ 社会・メディア)
4. 海老蔵事件における警察の標的とは (WEBRONZA+ 社会・メディア)
5. 次期日銀総裁には「政策レジームの転換」を体現できる人を! (WEBRONZA+ 経済・雇用)

(前日分を集計)

WEBRONZA × SYNODOS

復興アリーナ

Fukkou-Areana.jp



北大HOPSマガジン

北海道大学公共政策大学院が
お送りするオピニオン空間です。

WEBRONZA+



政治・国際

「左派・リベラル系」政治勢力の零落と再



高橋真理子

「手抜き除染」vs「アリバイ除染」—基本戦略の欠如が諸悪の根源

2013年01月19日

▶ [除染の現実](#)

原発 地域社会 地震・災害

retweet

0

f おすすめ

0

落ち葉や土砂を袋詰めせず、川に流した。高圧洗浄機から出る水を回収しなかった。ベランダや屋根は雑巾かブラシを使うことになっているのに、高圧洗浄機を使っていた——こうした現場を目撃した朝日新聞が、これらを「手抜き除染」として報道した。

記事が出るや否や、福島県伊達市で除染を担当している半沢隆宏次長からメールをもらった。もっと大きな問題が「アリバイ除染」だと。

「アリバイ除染」とは、公費を使って「除染をやりました」という形だけ重視することといえるだろう。効果、必要性、費用とのバランスなどを考慮せず、とにかくやる。業者からすれば、それで報酬を貰える。政治家は、住民に顔が立つ。だが、十分な効果がなければ、それは公費の無駄遣いに他ならない。「過剰除染」と言ってもいい。

2013.1.30

GRIPS

1. 【ルポ 羽生結弦 夢のト(上)】—「待ってる、ディア」

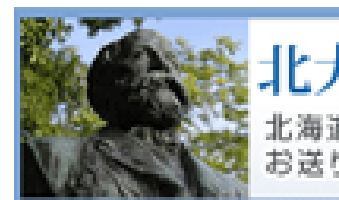
2. 軍事情報秘録の日本秘 (WEBRONZA+ 政治・国際)

3. FXはユーロファイターを国際)

4. 犠牲者の氏名を歴史に質事件 (WEBRONZA+)

5. 世界一になる夢を潰える+ル (経済・雇用)

WEBRONZA
復興
Fukko



WEBRONZA+



27



高橋真理子

「1票の格差」解消に、数学者よ立ち上がれ

2012年12月20日

司法 国内政治 科学者論

67 retweet

0 おすすめ 1

今回の総選挙は、最高裁が「違憲状態」と昨年3月に判断した区割りのまま実施された。もっとも有権者数の多い選挙区は野田佳彦首相のおひざ元千葉4区で、もっとも少ない高知3区の2.4倍以上。自分の1票がよその選挙区の半分以下の価値しかなくなれば、誰も是正を求めらるだろう。だが、「選挙区に公平に議席数を割り振る」という問題は、実は大変な難問で、過去2世紀の経験から「あらゆる点で満足できる方法は存在しない」ことがわかっている。それでも「まし」な方法を見つけるために、ここは世間から「浮世離れしている」という数学者が持てる力を振り絞ることを提言したい。数学的能力が頼りになるのはもちろんのこと、「浮世離れ」という特性も、人々が「公平」と感じるうえで大いにプラスになると思うからだ。

2013.1.30 どうして公平な配分が難しいかといえば、議席は整数でしかありえないからだ。全国の有権者数を議席数で割ると、1議席あたりの平均有権者数は出る。選挙区の有権者数をこれと割れば

アクセスランキング

WEBRONZA+

その他

1. 「左派・リベラル系」政治勢力の零落と再生への条件 (WEBRONZA+ 政治・国際)
2. 関東連合と「六本木フラワー事件」3つの謎 (WEBRONZA+ 社会・メディア)
3. 暴力団でないアウトロー「半グレ」の実態 (WEBRONZA+ 社会・メディア)
4. 海老蔵事件における警察の標的とは (WEBRONZA+ 社会・メディア)
5. 次期日銀総裁には「政策レジームの転換」を体現できる人を! (WEBRONZA+ 経済・雇用)

(前日分を集計)

WEBRONZA×SYNODOS

復興アリーナ
Fukkou-Areana.jp

北大HOPSマガジン

北海道大学公共政策大学院が
お送りするオピニオン空間です。

WEBRONZA+



政治・国際

「左派・リベラル系」政治勢力の零落と再





高橋真理子

古びないクストー氏の言葉：第1回科学ジャーナリスト世界会議から20年

2012年11月26日

地球環境 科学雑誌

[mbent](#) [0](#) [おすすり](#) [1](#)


第1回科学ジャーナリスト世界会議の全体会議（報告書より）

科学ジャーナリストの第1回世界会議を国連教育科学文化機関(ユネスコ)が東京で開いたのは1992年11月、ちょうど20年前のことだった。二人が基調講演をした。フランスの地球環境研究者ジャックイブ・クストー氏とキャノン代表取締役会長の賀来龍三郎氏だ。

「地球の未来と科学ジャーナリストの役割」について語ったクストー氏の講演記録を読み返してみると、氏の主張が今もまったく古びていないことに驚かされる。この20年、世界は何をやって

アクセスランキング

WEBRONZA+

その他

1. 「左派・リベラル系」政治勢力の零落と再生への条件 (WEBRONZA+ 政治・国際)
2. 関東連合と「六本木フブリー事件」30年の経緯(WEBRONZA+ 社会・メディア)
3. 暮らさずでいいアウトロー「半グレ」の理想(WEBRONZA+ 社会・メディア)
4. 海老蔵事件における警察の構造的とは(WEBRONZA+ 社会・メディア)
5. 次期日経総裁には「政策シームの転換」を体験できる人を (WEBRONZA+ 経済・雇用)

(並び替え可)

WEBRONZA × SYNODOS

復興アリーナ
Fukkou-Arena.jp



北大HOPSマガジン

北海道大学公共政策大学院が
お送りするオピニオン空間です。

WEBRONZA+



政治・国際

「左派・リベラル系」政治勢力の零落と再生への条件 (01/10) 梶田洋

- 【WEBRONZA】はこちら
- <http://webronza.asahi.com/>

ご静聴ありがとうございました

おまけ

朝日新聞出版
新書サイズ

